

# 中小企業の後継者問題と事業活動に関する調査

## < 結果概要（短縮版） >

早稲田大学 商学大学院

鵜飼信一

片山東

山野井順一

早稲田大学 産業経営研究所

井口衡

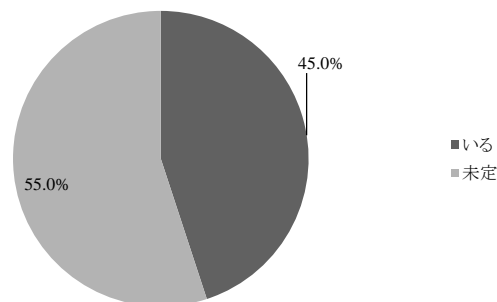
帝京大学 高等教育開発センター

大川内隆朗

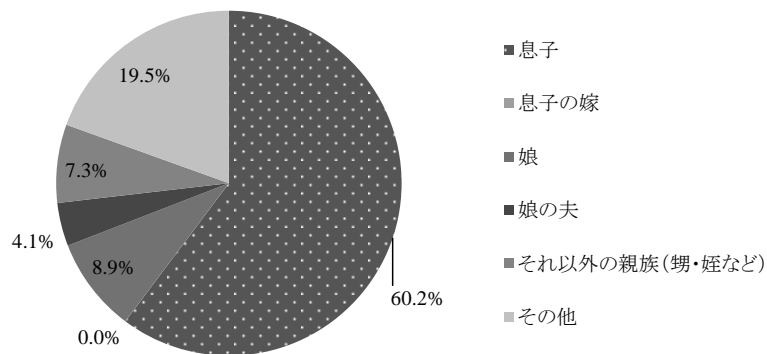
早稲田大学商学大学院では、科学研究費プロジェクト「グローバル経済におけるビジネスと会計制度の変化に関する経済学的研究（基盤研究 A）」の一環として、2016 年末に中小企業を対象とした質問票調査を行った。調査対象は、東京 23 区内に立地する中小企業（製造業）15,111 社である。調査票は、民間調査企業を通じて対象企業に 2016 年 11 月 12 日に発送し、回答期限は 4 週間後の 12 月 9 日までとした。なお本調査では Web での回答も可能になっている。調査対象企業のうち 1,520 社（回収率 10.0%）から回答を得た。そのうち Web での回答を行った企業は 339 社（回答企業の 22.3%）であった。

本調査では、各企業の事業承継問題、国際化、研究開発、環境取組みに関する状況などといった基本的な項目に加え、経営者の家族構成や価値観についても尋ねている。そのため、従来の中小企業調査とは一線を画す大変ユニークな調査となっている。以下では、事業承継に関わる設問への回答結果について単純集計を紹介する。

### 【問 1】貴社に後継者はいらっしゃいますか（N=1,179）。

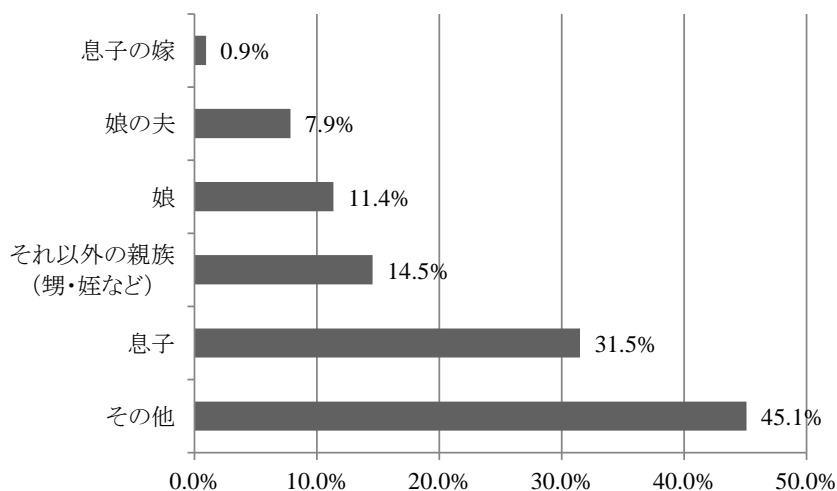


後継者として合意している方がいらっしゃる場合には、どなたが後継者かお答えください



【後継者がいる場合】後継者の内訳 (N=528)

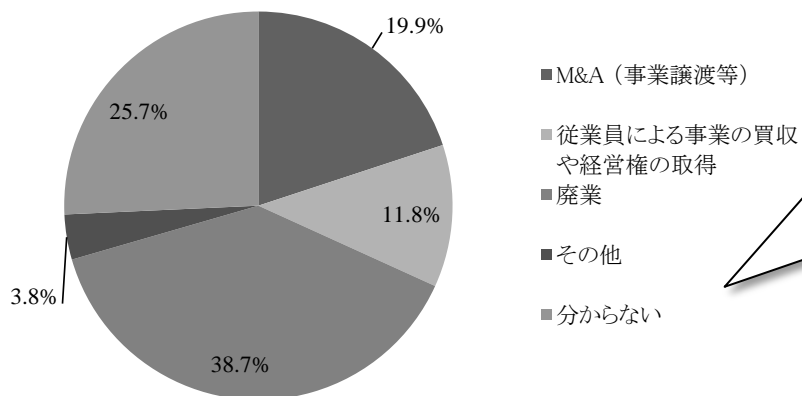
【問 1-1】「未定」とお答えの方にお伺いします。以下の人物それぞれについて、どのぐらいの確率で貴社の後継者になるとお考えですか



- ・ 親族以外のその他が最も多く、平均して 45.1% の確率で親族以外から後継者が現れると考えている。
- ・ 親族では、息子が最も多く、後継者が未定の経営者は、平均して 31.5% の確率で息子が継いでくれるのではないかと考えている。

【未定の場合】後継者出現確率の平均 (N=640)

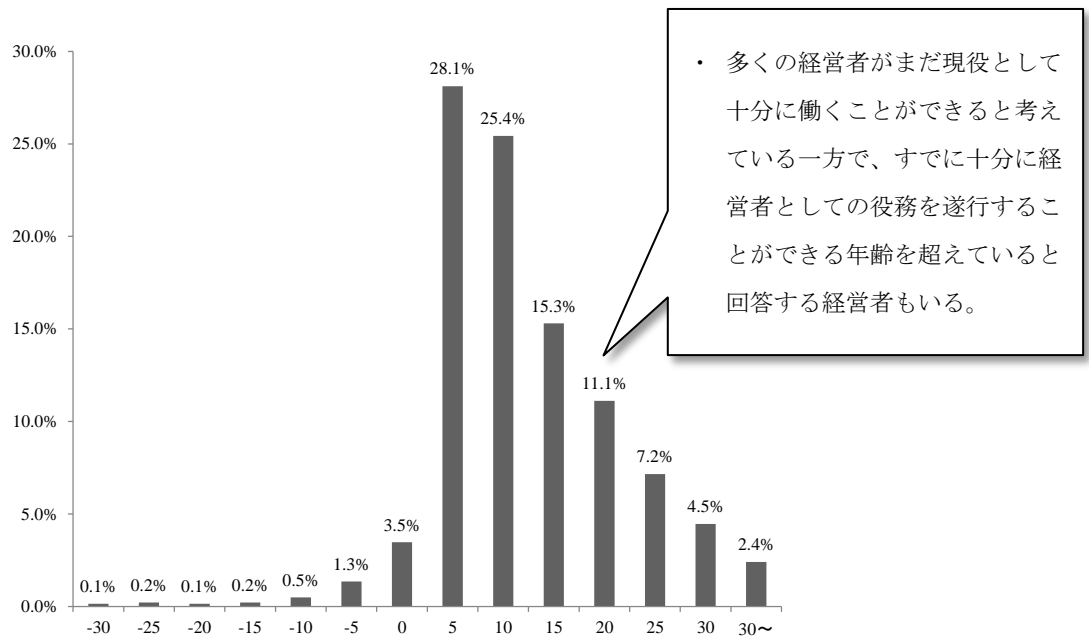
今後、後継者が現れる可能性が全くない場合、貴社の将来の予定はどのようになっていますか (N=346)



- ・ 廃業が最も多く全体の 38.7%。
- ・ 現状で、後継者の当てがなく、将来の予定も分かっていない企業が 25.7%。

【問 2】 企業経営には大変な労力が必要だと存じますが、あなたが経営者としての役務を十分に遂行することができるのは、何歳までだとお考えですか (N=1,435)。

|                    | 平均    | 中央値 | 標準偏差 | 最大値 | 最小値 |
|--------------------|-------|-----|------|-----|-----|
| 経営者としての<br>体力がもつ年齢 | 70.59 | 70  | 7.48 | 120 | 35  |



現在の年齢と経営者としての体力が持つと考える年齢との差 (N=1,412)